

# 2009年 索道安全報告書

スプリングバレー泉高原スキー場

大生総業株式会社

## はじめに

平素より、スプリングバレー泉高原スキー場をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。弊社では、「安全第一」を事業経営の基本に掲げ、社員一人ひとりが索道輸送設備に対する安全確保の重要性を常に認識し、全社一丸となって事故防止への積極的な取り組みを推進しております。

本報告書は、鉄道事業に基づき、輸送の安全に関する情報を定期的に公表することにより、当施設における活動状況について皆さまのご理解を深めていただくことを目的としております。

今後とも、安全でより快適な輸送を実現すべく鋭意努力してまいります所存でございますので、何卒、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 安全方針と安全重点目標

### 1. 安全方針(輸送の安全に関する基本方針)

弊社では、安全方針を次のように掲げ、社長および役員が率先垂範して、社員への周知徹底と安全管理体制の確立を図っております。

**『法令を遵守し、索道輸送の安全を確立して地域社会に貢献する』**

### 2. 安全重点目標

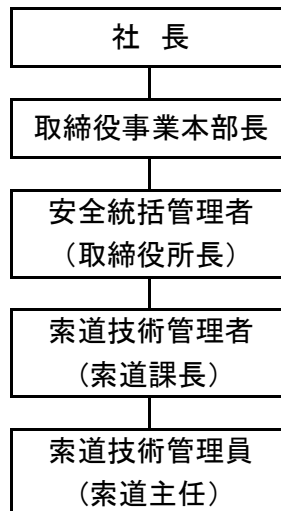
安全方針にしたがい、次のとおり安全重点目標を掲げております。

- ①安全の優先と法令遵守の徹底
- ②事故、災害の撲滅
- ③報・連・相の徹底と危機管理対応力の強化
- ④設備保守の強化による安全対策の強化
- ⑤教育・訓練の徹底

## 安全管理体制

弊社では、輸送の安全を確立するために、安全管理規定に基づき、次のとおり安全管理組織を構築し、それぞれの責務を明確にしております。

<安全管理組織図>



## <輸送の安全確保にかかわる責務>

1. 社長  
社長は索道輸送の安全確保に関わる最終責任者としての責任と権限を有する。
2. 安全統括管理者  
索道輸送の安全確保に関する実務の最高責任者として統括管理する。
3. 索道技術管理者  
安全統括管理者の指揮下において、索道施設の保守管理、索道の運行管理、その他技術上の事項に関する業務を管理する。
4. 索道技術管理員  
索道技術管理者の指揮下において、索道技術管理者の業務を補助するとともに、索道の運行を管理する。

## 2008年度における輸送の安全確保のための取り組み

弊社では、輸送の安全を確保するために、2008年度において、社員教育、訓練および索道施設の整備などを実施しました。実施した主な取り組みは以下のとおりです。  
なお、索道運転事故等の発生はありませんでした。

1. 社員教育
  - ・冬期従業員研修会(索道運転および設備の取り扱い、事故防止について等)
  - ・救助時対応訓練(救助用具・予備エンジンの取り扱い、救助訓練の実施)
2. 索道施設の主要な整備実施状況
  - ・握索装置分解点検整備(全施設)
  - ・受索装置点検整備(全施設)
  - ・原動機点検整備(全施設)
  - ・第1リフトおよび第4リフトの減速機オイル交換
  - ・第2クワッドリフト山麓駅舎内押送用Vベルト交換

## ご利用の皆様へのお願い

弊社では、安全でより快適なサービスをご提供させていただくために、皆さまからのご意見を真摯に受け止め、改善につなげる具現化活動を推進しています。ぜひご意見等お寄せください。  
また、輸送の安全を実現するうえでは、リフトをご利用いただく際、皆さまのご協力が必要となります。リフトをご利用の際には、以下事項にご注意ください。

### 【リフト乗車時の注意事項】

- ① リフト乗車に慣れていないお客様は、係員にお申し出ください。
- ② リフト搭乗中は禁煙願います。
- ③ リフトから物を投げ捨てたり、物を落とさないよう注意してください。
- ④ リフトから飛び降りたり、リフトを揺らさないでください。
- ⑤ ウェア、携帯品等が、リフトに巻き付かないようご注意ください。
- ⑥ 係員の指示に従ってください。

## ご連絡先

---

本報告書へのご感想、弊社の安全への取り組みに対するご意見等をお聞かせください。

〒981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字岳山14-2

大生総業株式会社

スプリングバレー泉高原スキー場 お客様係

TEL:022-379-3755 FAX:022-379-4423

[www.springballey.co.jp](http://www.springballey.co.jp) pc